

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	112	部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課	所 属 長	乾 一彦
事務事業名	00058 職員研修事業	記 入 者	栗津 英子				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法第45条
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	令和2年度研修計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	職員研修事業費	

事業の概要
 ・保育所に求められる役割に応えるため、研修や研究活動を通して公私立保育園職員の資質向上を図り、保育所運営及び、保育内容の質を高める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	保育所等に働く職員が、保育所の運営及び保育内容の質を高め資質向上を図る
対象 (何又は誰を)	公立保育所の職員を対象とする。(一部民間保育所職員・地域型保育事業職員も参加の研修とする)
手段 (どのようなやり方で)	対象者別育成研修(経験年数や職種で分けるもの)及びテーマ(内容)別研修の開催や県・近畿・全国レベルの研修会への派遣・研究部会活動の実施
成果 (どのような状態にするのか)	子どもや保護者の実態やその背景の社会情勢を認識し、保育に関する知識と技術を用いて適切に判断・対応する

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		649	628	420	1,104	1,104	R2はコロナの影響
人件費 B		8,790	8,190	7,997	9,168	9,168	R3から研修の充実
事業費合計 A+B		9,439	8,818	8,417	10,272	10,272	
事業費 の内訳	国	132	209	119	313	313	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,307	8,609	8,298	9,959	9,959	
職員数(人)		1.70	1.70	1.66	1.69	1.69	
職員数の 内訳	正規	0.70	0.70	0.70	1.00	1.00	
	嘱託	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.96	0.69	0.69	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	実施回数	回	目標	63	63	63	63	63	
		実績		60	67	59	-	-		
年間で開催した研修会、研究部会、派遣研修の回数										
活動指標	2			目標						
		実績								
成果指標	1	一人あたりの参加回数	回	目標	6.7	6	6	6	6	
		実績		6.2	5.1	3.3	-	-		
	参加総数/公立保育園等職員数									
	2	参加人数	名	目標	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
実績		1,811		1,607	1,176	-	-			
年間で参加した総数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	・子どもの命と権利を守るセーフティネットとしての役割を担い、子どもの発達保障と保護者の子育てを支援するという保育者の専門性と資質向上が更に求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	・第5次研修計画を基に実施。コロナの影響で回数・人数を縮小する中、対象毎の課題の明確化、研修参加者の学びの共有化を図りつつ進めた。令和3年度に向けて第6次研修計画を策定。より主体的な参加を目指す。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	・研修を通して子どもの捉え方や保護者対応の理解を深め、専門職として必要な知識や技術を高めた。また、自身の保育を振り返り、実践力の向上に繋げている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	・新型コロナウイルス感染症対策として、開催中止や回数・参加人数の制限を行ったため、実施回数や参加者数は減少したが、研修参加者が、習得した知識や技術を自身の実践に活かすとともに、他の職員への伝達を積極的に実施することで、職場全体の保育の質の向上につなげている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	・職種や経験年数などの対象別やテーマ別の研修を企画し、それぞれの課題を明らかにすることで、必要な知識や技術の習得・個別の関心に即した学びを深め、成果をあげている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	・研修の積み重ねの中で、保育所職員の資質向上を図り、子どもの健やかな成長を支え、多様な保育のニーズへの対応につながっている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	・第6次研修計画に基づき、それぞれの職種に求められる役割や専門性、様々な時事課題や多様な保育ニーズに対応できる研修内容を企画し実施していく。職員の研修に対しての目的意識の向上、キャリアデザインを意識した主体的な学びを目指す。コロナの影響により開催方法は、オンライン研修の実施、学びの共有化など、引き続き工夫を図る。
部局長コメント	保育園等の運営に携わる保育士等の職員は、専門職として資質の研鑽を図ることが必要であり、保育の質の向上につながるような効果的な職員研修を実施していく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1 92.53 %	85.00 %	55.00 %
	指標2 100.61 %	89.27 %	65.33 %
成果増減率	指標1 - %	-17.74 %	-35.29 %
	指標2 - %	-11.26 %	-26.82 %
活動単位コスト	指標1 157 千円	131 千円	142 千円
	指標2 0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1 1,522 千円	1,729 千円	2,550 千円
	指標2 5 千円	5 千円	7 千円
コスト増減率	- %	+9.42 %	+38.97 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	113		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	00060 公立保育所運営事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画	次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重要	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	公立保育所運営事業費	
事業の概要	公立保育所の管理・運営を行う。 園数：15園（ただし、葛川保育園は平成27年4月より休園） 定員：1,570人（葛川保育園を除く） 入所児童数-1,287人 ※R2.4.1現在				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	公立保育所の管理・運営及び保育の実施
対象 (何又は誰を)	公立保育園及び入所児童
手段 (どのようなやり方で)	「望ましい環境の中で心身ともに調和のとれた発達を図り、自主・自立・協調性を養い、豊かな情操と創造性を培う」を大津市基準保育目標とし、保育を実施する。
成果 (どのような状態にするのか)	各年齢ごとに発達の特徴とねらい、内容、保育者のかかわり方を「保育課程」として作成し職員が共通理解の上で子どもの自発性を大切に興味や欲求を満たした生活や遊びを通して個々の発達に応じた保育をする。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	230,606	245,466	222,568	148,068	148,068	R2はコロナの影響
人件費	B	1,940,251	2,053,500	1,970,270	2,006,541	2,006,541	R3から一部事業費/補助金を
事業費合計 A+B		2,170,857	2,298,966	2,192,838	2,154,609	2,154,609	他事業へ移管
事業費の内訳	国	19,070	19,448	14,933	0	0	R3から事業分割(組織再編)
	県	20,982	3,716	7,000	127	127	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	419,135	295,402	47,792	74,037	74,037	
	一般財源	1,711,670	1,980,400	2,123,113	2,080,445	2,080,445	
職員数(人)		341.15	346.55	314.57	324.68	324.68	
職員数の内訳	正規	201.45	213.85	198.85	200.95	200.95	
	嘱託	34.50	37.50	0.00	0.00	0.00	
	臨時	105.20	95.20	115.72	123.73	123.73	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	年度当初入所定員	人	目標	1,610	1,610	1,610	1,610	1,610
		実績		1,610	1,610	1,570	-	-	
		公立保育園の入所定員(4月1日現在)							
2				目標					
				実績					
1		年度当初入所児童数	人	目標	1,610	1,610	1,610	1,610	1,610
		実績		1,426	1,372	1,287	-	-	
		公立保育園の入所児童数(4月1日現在)							
2		障害児の受入児童数	人	目標	100	100	100	100	100
		実績		126	116	118	-	-	
		公立保育園の入所障害児数(4月1日現在) ※平成28年度より指標に追加							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	就学前児童数は減少しているが、共働き世帯の増加等により保育需要はますます高まっている。また、入所児童の増加に伴い、要支援児についても増加傾向にある。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成28年度に浜大津保育園を民営化し市の財政負担の軽減を行ったが、令和元年度に民営化の推進が撤回されたため、今後は財政負担と大津の保育の質の維持等を考慮しつつ、市立こども園も含めてあり方の検討を行う。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	障害児保育をはじめ、子ども・子育て支援制度での教育・保育提供区内の拠点として公立保育所ならではの保育の提供ができています。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	保育課程を職員が共通理解したうえ、更なる保育の質の向上に向けて公立保育所に求められる指導的・先導的役割を果たしている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	研修を通して公立保育所として培ってきた知識や技能を民間保育所に伝えるなど、大津市全体の保育の質の向上の観点から効率性が非常に高い。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	保育の提供や地域における子育て支援拠点としての貢献、さらには大津市全体の保育の質の向上に不可欠な役割を果たし、施策に必要不可欠な貢献を行っている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	公立保育所としての役割をしっかりと果たしていくとともに、認定こども園への移行を視野に入れた取り組みを行なう。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	88.57 %	85.21 %	79.93 %
	指標2	126.00 %	116.00 %	118.00 %
成果増減率	指標1	- %	-3.78 %	-6.19 %
	指標2	- %	-7.93 %	+1.72 %
活動単位コスト	指標1	1,348 千円	1,427 千円	1,396 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	1,522 千円	1,675 千円	1,703 千円
	指標2	17,229 千円	19,818 千円	18,583 千円
コスト増減率		- %	+12.54 %	-2.27 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	120				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課	所 属 長	栗田 昌伸
事務事業名	00063	民間保育施設運営助成事業	記 入 者	辻本 昭壽	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	保育所等運営補助金交付要綱等
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
	重事	01	保育人材確保総合対策事業	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	民間保育施設運営助成事業費	

事業の概要
民間保育所等に対し、障害児保育補助など保育士の加配に要する経費など、運営費の一部を助成をすることで保育の充実を図っていく。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	民間保育所等の保育の充実、公民格差の是正、特別保育事業の実施
対象 (何又は誰を)	児童福祉法に基づく認可を受けた民間保育所等
手段 (どのようなやり方で)	保育所等が実施する各事業の経費を補助
成果 (どのような状態にするのか)	民間保育所等の保育の充実が図られ、もって児童福祉の増進を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,176,828	1,381,219	1,587,235	1,689,011	1,689,011	
人件費 B		14,592	18,015	17,832	15,370	15,370	
事業費合計 A+B		1,191,420	1,399,234	1,605,067	1,704,381	1,704,381	
事業費の内訳	国	89,742	192,451	187,022	141,198	141,198	
	県	54,701	85,350	195,362	159,242	159,242	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,046,977	1,121,433	1,222,683	1,403,941	1,403,941	
職員数(人)		2.85	3.25	2.55	2.50	2.50	
職員数の内訳	正規	1.45	1.85	1.95	1.50	1.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.40	1.40	0.60	1.00	1.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	年度当初入所定員数	人	目標	5,960	6,392	6,852	7,093	7,093
				実績	5,960	6,392	6,852	-	-
	民間保育施設の入所定員数(4月1日現在)								
	2				目標				
実績									
成果指標	1	障害児受入園数	園	目標	52	53	54	65	65
				実績	51	56	65	-	-
	障害児保育を実施している民間保育園数								
	2	年度当初入所児童数	人	目標	5,960	6,392	6,852	7,021	7,021
実績				6,314	6,459	6,924	-	-	
民間保育施設の入所児童数(4月1日現在)									

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	121		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課
事務事業名	00049 民間保育所施設整備費補助事業	所 属 長	栗田 昌伸
		記 入 者	辻本 昭壽

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法、天津市保育所等整備事業費補助金交付要綱
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	02	保育施設の整備促進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	民間保育施設整備事業費補助金	
事業の概要	待機児童の解消を図るため、民間保育所の新設を推進する。また、老朽化し狭隘な民間保育所については、待機児童の解消、並びに子どもにとって安全な環境を確保するため、増改築の推進を図る。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	待機児童の解消、並びに子どもの安全な環境を確保する。
対象 (何又は誰を)	施設整備を行う保育所の設置者である社会福祉法人等。
手段 (どのようなやり方で)	補助金を交付し、施設の整備や用地の確保に伴う経済的負担の軽減を図る。
成果 (どのような状態にするのか)	保育所の施設整備が図られて、保育施設が充実する。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,358,891	1,616,181	956,964	4,364	0	
人件費 B		26,746	25,505	9,020	820	0	
事業費合計 A+B		1,385,637	1,641,686	965,984	5,184	0	
事業費の財源内訳	国	1,046,551	1,250,859	639,430	0	0	
	県	0	0	34,587	0	0	
	起債	0	229,200	89,200	0	0	
	その他	0	0	0	4,364	0	
	一般財源	339,086	161,627	202,767	820	0	
職員数(人)		3.30	3.15	1.10	0.10	0.00	
職員数の内訳	正規	3.25	3.05	1.10	0.10	0.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.10	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	保育所新設箇所数	箇所	目標	7	8	3	0	0	
				実績	6	6	3	-	-	
	国・県および市の補助により新設した保育所数									
	2	老朽化改善のための保育所増改築箇所数	箇所	目標	2	2	1	0	0	
実績				2	2	1	-	-		
国・県および市の補助により増改築した保育所数										
成果指標	1	保育所の定員増数	人	目標	492	716	235	0	0	
				実績	601	551	235	-	-	
	施設整備(新築・増改築)により定員増を図った数									
	2				目標					
実績										

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	122				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課	所 属 長	栗田 昌伸
事務事業名	02405 病児・病後児保育事業		記 入 者	辻本 昭壽	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画	大津市子ども・若者支援計画
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	03	多様な保育サービスの充実			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	病児保育事業費	平成25年度 ~
事業の概要	国庫補助金を活用して、病児・病後児保育の実施経費を民間施設に補助する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	多様化する保育ニーズに対応するために
対象 (何又は誰を)	民間施設に対して
手段 (どのようなやり方で)	補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	多くの方に病児・病後児保育を利用できる状態にする。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		78,931	62,815	66,275	62,775	68,009	
人件費 B		1,230	1,660	1,230	973	973	
事業費合計 A+B		80,161	64,475	67,505	63,748	68,982	
事業費の内訳	国	26,851	23,093	24,093	20,343	22,652	
	県	25,094	20,343	24,021	20,343	22,652	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	28,216	21,039	19,391	23,062	23,678	
職員数(人)		0.15	0.20	0.15	0.15	0.15	
職員数の内訳	正規	0.15	0.20	0.15	0.10	0.10	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	病児・病後児保育実施施設数	箇所	目標	6	6	6	6	6
				実績	6	6	6	-	-
年度末現在									
成果指標	1	病児・病後児保育延利用者数	人	目標	1,842	2,348	2,242	2,215	2,215
				実績	2,303	2,225	925	-	-
当該年度における利用者数									
2				目標					
				実績					

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	123		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課
事務事業名	02439 一時預かり事業	所 属 長	栗田 昌伸
		記 入 者	辻本 昭壽

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	大津市子ども・若者支援計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	03	多様な保育サービスの充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	一時預かり事業費	

事業の概要
 国等の補助制度を活用し、一時預かり事業を実施する民間保育所等に対して経費の一部を補助する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	多様な保育ニーズに対応するために
対象 (何又は誰を)	一時預かり事業を実施する民間保育所に対し
手段 (どのようなやり方で)	国等の補助制度を活用して経費の一部を補助することによって
成果 (どのような状態にするのか)	一時預かり事業の実施を促進し、多くの方が一時預かり事業を利用できる状態にする。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		93,552	103,492	133,952	106,893	106,893	
人件費 B		410	415	410	410	410	
事業費合計 A+B		93,962	103,907	134,362	107,303	107,303	
事業費の内訳	国	50,700	51,527	59,325	35,630	35,630	
	県	28,824	27,205	55,820	35,630	35,630	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	14,438	25,175	19,217	36,043	36,043	
職員数(人)		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
職員数の内訳	正規	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	一時預かり事業実施施設数	箇所	目標	40	35	34	43	43
				実績	33	34	40	-	-
	年度末現在								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	一時預かり事業延べ利用人数	人	目標	39,000	36,000	30,000	26,500	26,500
				実績	34,634	30,354	24,500	-	-
	年度末現在								
	2			目標					
			実績						

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	135		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	児童クラブ課
事務事業名	00041 放課後児童健全育成事業	所 属 長	飯田 慎一
		記 入 者	白井 崇

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法、 大津市立児童クラブ条例
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	大津市子ども・若者支援 計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	04	児童クラブの充実事業			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	放課後児童健全育成事業費	
事業の概要	仕事やその他の理由から、放課後、家庭で保育を受けることが困難な小学校児童の健全育成を図るため、市内64か所（うち民間27か所）に児童クラブを開設している。 市立児童クラブは平成13年4月に従前の学童保育所を公営化したもので、近年、子どもの数は減少しているものの、共働き家庭や核家族化の増加等から、児童クラブを希望する児童は増加している。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	放課後、家庭において保育を受けることが困難な小学校児童の健全育成を図り、就労と子育ての両面を支援するため
対象 (何又は誰を)	就労等により保護者が昼間家庭にいない児童を
手段 (どのようなやり方で)	安全と衛生に配慮した施設管理を進め、児童の健全育成を図るために適切な遊び及び生活の場を与えることで
成果 (どのような状態にするのか)	児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		196,532	162,017	154,175	163,454	163,454	
人件費 B		37,020	33,180	32,065	29,605	29,605	
事業費合計 A+B		233,552	195,197	186,240	193,059	193,059	
事業費の内訳	国	0	0	0	22,302	22,302	
	県	0	0	32,274	22,302	22,302	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	84,971	82,329	72,262	96,546	96,546	
	一般財源	148,581	112,868	81,704	51,909	51,909	
職員数(人)		7.30	6.80	6.10	5.80	5.80	
職員数の内訳	正規	3.30	2.80	2.60	2.30	2.30	
	嘱託	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	2.00	2.00	3.50	3.50	3.50	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	公立の入所児童数	人	目標	3,205	3,335	3,335	3,263	3,263	
				実績	3,205	3,291	3,047	-	-	
	4月1日現在の入所児童数（実状に合わせ、令和3年度からは受入可能人数を目標値とし下回ることを指標とする）									
	2	公立の施設数	箇所	目標	37	37	37	0	0	
実績				37	37	37	-	-		
4月1日現在の児童クラブ数（葛川を除く全区へ設置済みなので指標とするのは令和2年度まで）										
成果指標	1	公立の入所率	率	目標	100	100	100	0	0	
				実績	100	100	100	-	-	
	随時入所受付及び決定（待機児童を出さない方針のため指標とするのは令和2年度まで）									
	2	公立の受入可能人数に対する5月1日現在の入所率	率	目標	0	0	0	100	100	
実績				0	0	0	-	-		
令和3年度からの成果指標。狭あい化解消のため100%を下回ることを指標とする。										

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	136				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	児童クラブ課	所 属 長	飯田 慎一
事務事業名	02616 民間児童クラブ運営助成事業	記 入 者	白井 崇		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法、天津市児童福祉法に基づく放課後健全育成事業基準条例
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	04	児童クラブの充実事業	関連する個別計画	大津市子ども・若者支援計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	民間児童クラブ運営助成事業費	

事業の概要
 急激な児童数の増加に伴う公立児童クラブの狭あい化を解消し、保護者の保育ニーズに応える選択肢を増やすため、民間児童クラブの参入を促進する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	児童クラブ通所児童数の急激な増加による公立児童クラブの狭あい化を解消するため
対象 (何又は誰を)	社会福祉法人をはじめとする民間事業者に対して
手段 (どのようなやり方で)	運営に対する補助に加えて、土地建物の賃借料や送迎バスの購入費等に対する市独自の補助を交付することで
成果 (どのような状態にするのか)	民間児童クラブの参入を促進するとともに保育環境の充実を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		81,378	182,933	241,732	243,170	243,170	
人件費 B		5,740	8,300	6,560	9,020	9,020	
事業費合計 A+B		87,118	191,233	248,292	252,190	252,190	
事業費の 財源内訳	国	25,109	56,707	74,853	83,924	83,924	
	県	25,109	56,707	80,133	62,810	62,810	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	36,900	77,819	93,306	105,456	105,456	
職員数(人)		0.70	1.00	0.80	1.10	1.10	
職員数の 内訳	正規	0.70	1.00	0.80	1.10	1.10	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	民間児童クラブ数	箇所	目標	16	18	20	0	0	
				実績	13	16	25	-	-	
	4月1日現在の民間児童クラブ数(新たな計画の目標ができたため、指標とするのは令和2年度まで)									
	2	市内の民間児童クラブ受入可能人数(施設の生活面積/1.65)	人	目標	0	0	0	1,164	1,306	
実績				0	0	0	-	-		
子ども・若者支援計画に掲げる目標値-市立児童クラブ受入可能人数(施設の生活面積を1.65㎡で除した数)										
成果指標	1	入所の割合	%	目標	12	14	15	0	0	
				実績	11	13.3	16.8	-	-	
	4月1日現在の民間児童クラブ利用の割合(より実効的な指標へ移行するため、令和2年度まで)									
	2	一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	目標	0	0	0	27	28	
実績				0	0	0	-	-		
5月1日現在の児童数で一人当たりの基準面積を算定										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	今日、天津市全体の小学生の数は減少しているが、保育所等の整備が進む中、児童クラブの利用ニーズが増加している。民間事業者から開設の相談も増えており、徐々に新規開設の児童クラブが増加する状況である。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成23年度から民間の児童クラブが開設し、補助金交付により運営を支援している。近年、公立児童クラブの狭隘化が進む状況を受け、補正予算を活用して積極的に開設に要する補助金を交付している。		
項目別評価	評 価	評 価 理 由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	公立児童クラブの狭あい化の解消に貢献しており、妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	民間児童クラブは令和2年4月現在で25施設が開設しており、利用する児童数も年々増加している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	新たに公立児童クラブを開設する経費、また、開設に伴う支援員の雇用経費等を比較するとコスト削減が図れている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	民間児童クラブの開設により公立児童クラブの狭あい化が解消されるとともに多様な保育環境が提供され、子育て環境の充実につながっている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	児童一人当たりの生活面積が少ない公立児童クラブの所在する地域に対して民間児童クラブの開設を進める。公立児童クラブの通所児童や新規申込者に対して民間児童クラブの利用を周知し、通所を誘導する。賃借料補助金の前払いを行い、民間児童クラブの安定経営を支援する。
部局長コメント	公立児童クラブの狭あい化が解消できるよう、民間児童クラブの開設と安定経営を支援する。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区 分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目 標 達成率	指標1	91.66 %	95.00 %	112.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成 果 増減率	指標1	- %	+20.90 %	+26.31 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	6,701 千円	11,952 千円	9,931 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	7,919 千円	14,378 千円	14,779 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+81.54 %	+2.78 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	114		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	00017 幼稚園子育て支援事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	堀井 久美子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	学校教育法24条・幼稚園教育要領
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
	重事	01	幼児教育の充実	関連する個別計画	大津市次世代育成支援行動計画、大津市教育振興基本計画

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	幼稚園子育て支援事業費	

事業の概要
 幼稚園が、地域や家庭の実情に応じながら、子育て支援機能を活用して「親と子の育ちの場」としての役割や機能を充実し、家庭や地域の教育力を支える。
 主な事業・〇一時預かり事業・親子の絆を深める子育て支援事業・未就園（0～2歳児）親子通園・子育て講座・子育て相談・園庭園舎開放

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	地域における子育てでの孤立化解消及び家庭の教育方向上を図るため
対象 (何又は誰を)	市内各地域の未就園親子ならびに幼稚園在園親子を対象として
手段 (どのようなやり方で)	未就園親子通園、園庭園舎開放、遊具用具絵本等の貸し出し、子育て相談、子育て講座、在園児預かり保育、子育て情報の提供等の子育て支援施策により
成果 (どのような状態にするのか)	幼児の心身の発達の助長と保護者の子育てに対する喜びや充足感、幼児の育ちに対する理解等を一層推進する。

< 3. 経費 > DO

	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考	
直接経費 A	7,181	12,778	943	2,159	2,159	R2はコロナの影響(交流保育)	
人件費 B	5,719	5,788	99,068	97,530	97,530	R2から人件費→会計年度職員へ	
事業費合計 A+B	12,900	18,566	100,011	99,689	99,689	R3からこども展充実	
事業費の財源内訳	国	12,900	8,061	21,255	22,995	22,995	
	県	0	4,030	18,001	19,748	19,748	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	149	8,377	18,148	18,148	
一般財源	0	6,326	52,378	38,798	38,798	H3 1補助金償還6,325千円	
職員数(人)	0.71	0.71	31.10	30.90	30.90		
職員数の内訳	正規	0.69	0.69	0.70	0.52	0.52	
	嘱託	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	30.40	30.38	30.38	

< 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1 未就園親子通園等の実施回数	回	目標	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	
			実績	3,200	3,724	1,920	-	-	
	市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ回数								
	2 在園児預かり保育の実施回数	回	目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	
実績			5,261	6,754	6,057	-	-		
平成22年度からの開始事業・市立幼稚園の子育て支援預かり保育実施合計回数									
成果指標	1 未就園親子通園等の参加人数	人	目標	50,000	45,000	35,000	35,000	35,000	
			実績	45,407	37,340	17,075	-	-	
	市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ参加人数(R2から3年保育全園実施)								
	2 在園児預かり保育利用人数	人	目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
実績			64,985	78,792	70,923	-	-		
市立幼稚園子育て支援預かり保育利用人数									

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	115		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	02423 子ども・子育て支援事業（幼児政策課）	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・子育て支援法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	子ども・子育て支援事業 計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	02	質の高い乳幼児期の教育・保育の推進事業			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	子ども・子育て支援事業費	
事業の概要	①次世代を担う子ども・子育てを社会全体で支援するための施策の検討（多様な方策による保育所待機児童の解消や地域における子育て支援機能の充実） ②子育て家庭をとりまく社会での家庭支援意識の醸成を図る。 ③子ども・子育て支援事業計画の施策を推進する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	子ども・子育て支援の充実を図るために
対象 (何又は誰を)	子育て世代を対象として
手段 (どのようなやり方で)	子ども・子育て支援事業計画に基づく施策を展開し
成果 (どのような状態にするのか)	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上と量の拡充が図られる

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		17,524	11,576	65,981	10,564	10,564	R2:キッズゾーン繰60345
人件費 B		12,083	13,055	13,323	6,610	6,610	
事業費合計 A+B		29,607	24,631	79,304	17,174	17,174	
事業費 の内訳	国	0	1,374	1,255	4,910	4,910	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	29,607	23,257	78,049	12,264	12,264	
職員数(人)		1.55	1.65	1.80	0.90	0.90	
職員数 の内訳	正規	1.45	1.55	1.52	0.75	0.75	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.10	0.28	0.15	0.15	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	子ども・子育て会議の開催	回	目標	4	4	3	3	3	
				実績	3	5	0	-	-	
	子ども・子育て支援事業計画の意見聴取、進捗管理を行う会議の開催回数									
	2			目標						
		実績								
成果指標	1	各年度の教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	事業計画の年度末の教育・保育、地域子育て支援事業の総確保割合									
	2			目標						
		実績								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	子ども・子育て支援事業計画に基づく教育・保育の確保、保育人材の確保はますます重要となり、少子化社会対策と相まって日本社会の最重要課題となっている。	
これまでの見直しや改善等の経過	子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から、子どもが生まれる前から自立するまでを対象とした「大津市子ども・若者支援計画」に統合し、その計画の趣旨・背景を踏まえた取り組みを行っている。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	法定計画である子ども・子育て支援事業計画に基づく事業であり、今後の本市の子育て支援周辺施策を進める上で根幹となる事業として、その妥当性は非常に高い。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	子ども・子育て支援施策の根幹となる「量の確保」と「質の向上」を計画的に進める事業であり、その有効性は非常に高い。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民ニーズと各種データをはじめとする現状を詳細に分析し策定した計画に基づいて事業実施するため、費用対効果は高く、その効率性は高い。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略で重要施策と位置づけられている子ども・子育て支援に係る根幹事業であり、施策への貢献度は非常に高い。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	「大津市子ども・若者支援計画」に基づき、諸施策を実施する。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	9,869 千円	4,926 千円
	指標2	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	296 千円	246 千円
	指標2	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-16.80 %	+221.96 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	116		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	00175 幼稚園管理運営事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	関連する個別計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	03	市立幼稚園の規模適正化			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	幼稚園管理運営費	

事業の概要
幼稚園29園の管理運営をはじめ、幼児教育活動に必要な教材や設備等の教育環境の充実を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	各幼稚園の管理運営及び教育活動を円滑に行う。
対象 (何又は誰を)	園児・教職員
手段 (どのようなやり方で)	各幼稚園の地域の実態に応じ、工夫を凝らした教育環境整備に努める。
成果 (どのような状態にするのか)	幼児教育環境の整備・充実を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		101,722	105,135	118,217	75,319	78,012	用務員委託：R2、R3
人件費 B		7,380	9,130	8,353	4,970	4,970	各1名追加(2,693/人)
事業費合計 A+B		109,102	114,265	126,570	80,289	82,982	R3から事業分割(組織再編)
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	5,457	0	5,608	5,275	5,275	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	103,645	114,265	120,962	75,014	77,707	
職員数(人)		0.90	1.10	1.10	0.70	0.70	
職員数の内訳	正 規	0.90	1.10	0.97	0.55	0.55	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.00	0.00	0.13	0.15	0.15	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	教材費 (消耗品+印刷製本費-図書)	千円	目標	11,292	11,200	11,200	11,200	11,200
				実績	11,064	10,078	8,861	-	-
		目標値：当初予算額 実績値：決算額 H26より事業の分割							
成果指標	1	園児1人当たりの教材費(4歳以上)	円	目標	5,000	5,500	5,500	5,500	5,500
				実績	6,076	5,710	5,315	-	-
		年間教材/園児数 H26より事業の分割							
活動指標	2			目標					
				実績					

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	117		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	02547 学校図書充実事業（幼児政策課）	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律 大津市子ども読書活動推進計画（第3次）
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00146	学校図書充実事業〔小・中学校〕	2402	学校教育課

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	学校図書充実事業費〔幼稚園〕	

事業の概要
幼稚園児の読書活動を推進するため、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（ ）

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	各幼稚園の蔵書の充実のために
対象 (何又は誰を)	各幼稚園に
手段 (どのようなやり方で)	園児用図書を購入し
成果 (どのような状態にするのか)	幼稚園児が図書に親しむ機会が増える。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,553	1,437	1,416	1,372	1,372	
人件費 B		82	83	82	82	82	
事業費合計 A+B		1,635	1,520	1,498	1,454	1,454	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1,553	962	1,417	1,370	1,370	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	82	558	81	84	84	
職員数(人)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
職員数の内訳	正規	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	図書購入数	冊	目標	1,000	900	850	850	850
		実績		941	902	794	-	-	
		各幼稚園の図書購入冊数							
活動指標	2			目標					
				実績					
成果指標	1	平均図書購入数	冊	目標	20	20	20	29	29
		実績		30	29	27	-	-	
		購入冊数/33園 (H28から32園) (H30から31園) (R3から29園)							
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	幼稚園児の読書活動を推進するため、第三次大津市子ども読書活動推進計画に基づき、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図っている。		
これまでの見直しや改善等の経過	第三次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書等の整備を行う。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	幼児期の教育において、子ども達が多様な図書に触れることは、その図書を通して想像力を高め、子どもの感じる心を育てるため欠かせないものであり妥当性がある。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	様々な図書をそろえ、充実させることで、図書に触れる機会や多様な読書体験が出来ることから、幼児期の教育の質の向上と園児の発達面で非常に有効性がある。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	幼児期の図書との触れあいは子どもの確かな学習と生きる力を養う基盤につながることから、子どもの教育にとって非常に効率性のある方法である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	幼児期の図書との触れあいは、子どもの確かな学習と生きる力を養う基盤につながることから、子どもの読書週間のみならず、発達の側面からもその貢献度は非常に高い。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	各幼稚園で蔵書管理やその時々によさわしい図書をしっかりと充実させ、子ども達が身近な場所で楽しみながら図書を選び、読み、触れ合う機会を提供することは、幼稚園教育要領に定められた言葉の獲得に関する領域を中心とした発達に非常に有効であり、そのための環境整備に努めることが重要である。
部局長コメント	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎となる様々な体験を積む大切な時期であり、本と触れることは非常に重要であることから、保護者や子どものニーズに応じて、引き続き充実を図る。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標達成率	指標1	150.00 %	145.00 %	135.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-3.33 %	-6.89 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	54 千円	52 千円	55 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-3.82 %	+5.85 %	

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	118		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	02620 県園長会等助成事業費	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	堀井 久美子

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	県園長会等助成事業費	
事業の概要	県下の公立幼稚園長が各会組織の中で相互連携を図り、園運営の安定化と教育の振興・充実を図る。また、各会組織により行われる研修・研究活動に参加し、教育の充実発展に資する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	教育の充実、発展のために
対象 (何又は誰を)	園長、教員等で組織する団体の
手段 (どのようなやり方で)	負担金を支払い
成果 (どのような状態にするのか)	県内各園との情報交換と、教育推進のための研究・研修の充実を図り、市教育行政の推進に寄与する。

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		314	312	292	292	292	
人件費 B		82	83	82	82	82	
事業費合計 A+B		396	395	374	374	374	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	396	395	374	374	374	
職員数(人)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
職員数の 内訳	正 規	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	滋賀県幼稚園教育研究会、国公立幼稚園長会 研究会が開催された回数	回	目標	4	4	4	4	4
				実績	4	4	2	-	-
成果指標	1	全体研修会等の参加人数(県内) 滋賀県幼稚園教育研究会、国公立幼稚園長会の全体会、その他の公開研修会(平成27年度より)	人	目標	800	700	700	700	700
				実績	682	1,010	1,241	-	-
	2			目標					
				実績					

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	119		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼保支援課
事務事業名	02621 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	堀井 久美子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市教育振興基本計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
	重事	99	その他	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	学校支援総合推進事業費〔幼稚園〕	

事業の概要
各園において幼稚園協力者会議を組織し、幼稚園と地域・保護者がともに協力し合い子どもの育成にあたる。幼稚園運営支援の一方案として、外部人材活用を積極的に行い、子どもとのかかわりや保育環境への働きかけ、安全教育にかかわる取り組みや学校（幼稚園）評価を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	幼稚園が家庭や地域社会との結びつきを深め、社会全体で子どもを見守る体制をつくるために
対象 (何又は誰を)	市立幼稚園を対象に
手段 (どのようなやり方で)	学校（幼稚園）協力者会議を組織・開催するとともに、地域人材の積極的活用の推進を図り
成果 (どのような状態にするのか)	大津市学校園経営の指針に掲げる多様性の尊重と一人一人を大切にされた教育を推進し、地域や社会に開かれた園経営を目指す。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		306	301	288	365	365	
人件費 B		1,125	1,137	1,127	1,127	1,127	
事業費合計 A+B		1,431	1,438	1,415	1,492	1,492	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,431	1,438	1,415	1,492	1,492	
職員数(人)		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
職員数 の内訳	正規	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	目標	90	90	90	87	87
				実績	84	80	56	-	-
幼稚園全体における開催回数の合計（各園3回/R3から園）									
成果指標	1	子どもの幼稚園満足度	点	目標	2.9	2.9	2.9	2.9	0
				実績	2.9	3	3	-	-
学校評価における各園の関係者評価結果の平均点									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちに豊かな感性や道徳心、人間関係作りなどの力を育み、社会生活を送るうえで必要な資質、能力、態度を育成することが大切である		
これまでの見直しや改善等の経過	各園で、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てていこうとする取組が推進されている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	広く地域に幼稚園を開き、家庭、地域とともに緊密な連携を図りながら、子どもたちの育成に取り組む事業として重要である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	地域社会に根ざした園づくりの実現に地域人材の活用や、協力体制の充実が図られている。また、子どもたちの安心・安全の確保、緊急対応などの協力や支援は大変大きい。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	各園の実態に応じた外部人材の活用が人とかかわる力の育成や体験の豊かさにつながり、園経営に特色が見られる。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	協力者会議による関係者評価結果に基づき、各園が伸ばそうとする特色や解決を目指す課題を明確にし、園・家庭・地域が共に協調した取組を推進している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	今後も園と地域、保護者がより緊密な連携を図り、地域の子どもの育成していく協力体制の基盤として、外部人材を活用した事業の推進に努める。また、各園をとりまく状況にもよるが、コミュニティ・スクールの導入を推進する。
部局長コメント	幼稚園と地域・保護者がともに協力して子どもの育成を図る上で、幼稚園運営支援の方策として外部人材を活用することは有効であり、引き続き適切な事業の推進に努める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	100.00 %	103.44 %	103.44 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+3.44 %	±0.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	17 千円	17 千円	25 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	493 千円	479 千円	471 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-2.86 %	-1.59 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	124				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課	所 属 長	栗田 昌伸
事務事業名	00116	私立幼稚園運営費補助事業	記 入 者	辻本 昭壽	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	私立幼稚園運営費補助金 交付基準
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	99	その他	関連する 個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00114	幼稚園就園奨励費補助事業	1410	保育幼稚園課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	私立幼稚園運営費補助事業費	

事業の概要
 公立による私立の経営圧迫を軽減し公私立幼稚園の共存共栄と私立幼稚園の教育振興がより一層図られることを目的に、私立幼稚園への運営補助を実施している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	私立幼稚園の教育振興を図るために
対象 (何又は誰を)	市内私立幼稚園を対象に
手段 (どのようなやり方で)	正規職員給与費一人あたり75,000円/年、園児の教材費一人あたり2,000円/年、管理経費(光熱水費等)として(職員+園児)一人あたり300円/年の一部補助する。
成果 (どのような状態にするのか)	私立幼稚園の経費負担を軽減する

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,104	3,994	3,854	2,705	2,492	
人件費 B		410	415	410	410	410	
事業費合計 A+B		4,514	4,409	4,264	3,115	2,902	
事業費 の財源 内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,514	4,409	4,264	3,115	2,902	
職員数(人)		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
職員数 の内訳	正規	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	補助対象園数	園	目標	3	3	3	2	2
				実績	3	3	3	-	-
	市内私立幼稚園数(補助対象園数)								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	園児数	人	目標	497	468	467	292	265
				実績	475	467	399	-	-
	市内私立幼稚園園児数								
	2				目標				
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	子ども・子育て支援新制度に対応した幼稚園の教育の向上が求められる。		
これまでの見直しや改善等の経過	子ども・子育て支援新制度に対応した補助対象の改善		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	私立幼稚園の教育の向上に対応した経費算定が妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	教育の向上に有効である。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	事務は整理されており効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	私立幼稚園の教育の向上に貢献している。
---------	--	---------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	幼保連携型認定こども園の運営補助を別にして、新制度に移行していない私立幼稚園のみの運営費補助とし、教育の更なる向上のために継続する。
部局長コメント	本市における更なる幼児教育の振興を推進していく補助事業として必要なため、今後も継続していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	95.57 %	99.78 %	85.43 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-1.68 %	-14.56 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,504 千円	1,469 千円	1,421 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	9 千円	9 千円	10 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-0.65 %	+13.19 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	105		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て政策課
事務事業名	02414 次世代育成支援行動計画推進事業	所 属 長	堀井 雪江
		記 入 者	山田 浩信

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	社会福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法 大津市次世代育成支援行動計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	01	次世代育成支援事業	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	一般事務費	次世代育成支援行動計画推進事業費	

事業の概要 「第2次大津市次世代育成支援行動計画」は、令和2年3月に統合され、新たに「大津市子ども・若者支援計画」が策定されたが、統合前計画の最終年度である令和元年度の評価は、指標評価の数値が出ていなかったことから完了していないため、算定が完了した数値に基づき評価を行う。今後は、統合後の計画における各施策の進捗管理を行い、分析・評価しながら、取組や事業内容の改善を提言し、計画を推進していく。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るため、
対象 (何又は誰を)	次世代育成支援対策を
手段 (どのようなやり方で)	推進・強化し、
成果 (どのような状態にするのか)	子どもの笑顔が輝くまちにする。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		6,171	3,094	197	827	4,992	
人件費 B		13,950	17,159	2,460	7,584	7,584	
事業費合計 A+B		20,121	20,253	2,657	8,411	12,576	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	20,121	20,253	2,657	8,411	12,576	
職員数 (人)		2.16	2.53	0.30	1.05	1.05	
職員数の内訳	正規	1.56	1.93	0.30	0.85	0.85	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.60	0.60	0.00	0.20	0.20	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	取組事業数	件	目標	428	428	0	0	0
				実績	428	428	0	-	-
第2次次世代育成支援行動計画の取組事業数									
活動指標	2			目標					
				実績					
成果指標	1	次世代育成支援行動計画施策方向別指標評価平均	ポイント	目標	100	100	0	0	0
				実績	71	68	0	-	-
第2次次世代育成支援行動計画での施策方向別(6方向)指標での評価平均									
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	少子化や核家族化の進行、地域の繋がりの希薄化等を背景にした孤立化や新たな待機児童の発生、仕事と子育ての両立の困難さなど子育て環境は厳しい状況にあり、多様な子育てに対する不安や負担感が増大している。	
これまでの見直しや改善等の経過	子育て支援とワークライフバランスを両輪とした第2次行動計画を策定し、新たな視点として少子化対策への対応、子どもの貧困対策、発達支援を必要とする子どもへの総合的な取組の事業を推進する。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	第2次行動計画に基づき、庁内関係各課が連携し、各種事業に取り組んでいる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	実績としては68ポイント（統合前の計画の最終年度である令和元年度の指標評価の数値）となっているが、子育て支援の充実という観点から着実に進展している。
効率性 (事業手法は効率的であるか)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	施策の目標別・施策の方向性（客観的データ等を指標に設定）・主要施策別に進捗状況及び施策評価を数値化し、分析・検討を行い、総合的に評価を行っている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	庁内51の担当課・室が個別事業や取組みの進捗・施策評価を行い、連携して総合的に評価を行い、事業を推進している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>「第2次大津市次世代育成支援行動計画」は、「大津市子ども・子育て支援事業計画」、「大津市子ども・若者プラン」とともに統合され、令和2年3月に「大津市子ども・若者支援計画」として新たに策定されたことから、今後は新計画に基づき事業を推進するとともに、社会福祉審議会児童福祉専門分科会の運営を適切に行っていく。</p> <p>今後は、大津市子ども・若者支援計画に基づき、各種事業や施策の推進に努めていく。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標達成率	指標1	71.00 %	68.00 %	0.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-4.22 %	-100.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	47 千円	47 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	283 千円	297 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+5.09 %	±0.00 %	

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	106		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て政策課
事務事業名	00014 児童館運営事業	所 属 長	堀井 雪江
		記 入 者	徳永 幸代

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画	第2次大津市次世代育成支援行動計画
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	児童館運営費	
事業の概要	7児童館が、児童館運営基本方針及び活動基本指針に基づき、より広域的に多くの児童が利用できる魅力ある児童館づくりを積極的に推進し、あわせて地域における子どもの健全育成や子育て機能の充実を図っていく。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	子どもの健全育成や子育て支援、又、地域の子育て支援機関や組織との連携を図り、地域組織活動の育成をすることを目的として
対象 (何又は誰を)	0歳～18歳未満の子どもや、子育て中の保護者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	長期的・継続的にかかわり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図り、遊びの拠点と「居場所」場の提供、家庭や地域に対する子育て支援活動を実施し、
成果 (どのような状態にするのか)	子育てに対する負担の軽減となり、親子がいきいきと生活できたり、小中学生が友だちの中で自分を発揮し、地域やいろいろな世代の方とのつながりを深めたりする。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		11,436	13,054	18,227	15,508	17,814	
人件費 B		130,860	129,124	135,257	129,530	129,991	
事業費合計 A+B		142,296	142,178	153,484	145,038	147,805	
事業費の内訳	国	0	0	4,692	0	0	
	県	0	0	3,473	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	209	150	98	225	225	
	一般財源	142,087	142,028	145,221	144,813	147,580	
職員数 (人)		29.82	33.33	32.36	31.55	31.70	
職員数の内訳	正規	9.37	7.11	8.40	7.40	7.40	
	嘱託	16.90	19.90	0.00	0.00	0.00	
	臨時	3.55	6.32	23.96	24.15	24.30	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	親子ふれあい活動事業数	回	目標	650	650	490	650	0	
				実績	525	462	326	-	-	
	7児童館の親子ふれあい活動事業数(就学前の親子対象とした活動)									
	2	小中学生以上活動事業数	回	目標	400	400	300	400	0	
実績				336	260	179	-	-		
7児童館の小中学生以上活動事業数										
成果指標	1	児童館親子ふれあい活動参加者数	人	目標	25,000	25,000	18,750	25,000	0	
				実績	17,672	13,257	8,030	-	-	
	7児童館の親子ふれあい活動参加者の合計数									
	2	親子ふれあい活動について満足度 80%以上の人数割合	%	目標	100	100	100	100	0	
実績				100	100	100	-	-		
7児童館の親子ふれあい活動(3歳児登録制)参加者の満足度指数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	少子化及び幼稚園の3年保育が開始されるなど、児童館の利用者は減少している。一方で、子育てについて頼れるところがなく、孤立感や不安感を抱いている多くの方や、居場所のない子どもも存在している。	
これまでの見直しや改善等の経過	今後、3歳児の利用の減少が見込まれている。そうした変化に対応しながらも、多様な市民ニーズに応えられるよう、管理運営方法の見直しも含めた事業の進め方の改善が必要である。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	児童館における子育て支援事業に対するニーズは高い。小さな子どもを抱えて、地域との接点を求めて利用している方も多数おられることや、家庭基盤の弱さなどからさまざまな悩みを抱えている小中学生の居場所としての役割も十分に果たしている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	保育士や教員OBが児童館に配置され、子育て支援施策は充実してきている。しかし、公立の全ての幼稚園で3年保育が始まったことから、今後もニーズに応じた事業内容を実施していく必要がある。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	毎年事業の見直しを行いながら、来館者の満足度や有効度が高いものを次年度の事業として採用し、常に利用しやすい施設環境づくりを行っている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	小さい子どもを抱えている保護者に対する子育て支援の役割を十分に担っているほか、小中高生の放課後等の居場所づくりにも寄与していることから、子ども子育て支援施策に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	乳幼児親子の子育て支援事業及び子どもの居場所として定着するよう、遊びの充実を図り、児童館が地域の子育て拠点となるよう、ネットワーク化を推進していく。さらに、ふれあいセンターと合わせて、管理運営の方法について検討していく。
	地域の子育て支援の拠点となるよう事業の充実に努めていく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	70.68 %	53.02 %	42.82 %
	指標2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	-24.98 %	-39.42 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	271 千円	307 千円	470 千円
	指標2	423 千円	546 千円	857 千円
成果単位コスト	指標1	8 千円	10 千円	19 千円
	指標2	1,422 千円	1,421 千円	1,534 千円
コスト増減率		- %	+9.90 %	+29.03 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	107				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て政策課	所 属 長	堀井 雪江
事務事業名	00044	ファミリーサポートセンター運営事業	記 入 者	森 勇人	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市ファミリーサポートセンター事業実施要綱	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画		大津市子ども・若者支援計画
	施策	01	子育て環境の充実			
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進			
重事	99	その他				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	ファミリーサポートセンター運営事業費	

事業の概要
仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、平成13年4月に「ファミリーサポートセンター」を設立し、同年7月から会員による相互援助活動を行っている。
事業の管理運営については、社会福祉法人大津市社会福祉協議会に委託している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うために、
対象 (何又は誰を)	育児の援助を行いたい者と受けたい者が、ファミリーサポートセンターで会員登録し、
手段 (どのようなやり方で)	ファミリーサポートセンターのアドバイザーが会員間のニーズのあった調整を行い、援助活動を実施し、
成果 (どのような状態にするのか)	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援を行う。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		13,817	13,792	14,055	14,316	14,741	
人件費 B		820	830	1,312	1,230	1,230	
事業費合計 A+B		14,637	14,622	15,367	15,546	15,971	
事業費の内訳	国	4,558	4,668	4,707	4,772	4,913	
	県	4,595	4,597	4,673	4,772	4,913	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,484	5,357	5,987	6,002	6,145	
職員数(人)		0.10	0.10	0.16	0.15	0.15	
職員数の内訳	正規	0.10	0.10	0.16	0.15	0.15	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	センター会員数(新規)	人	目標	200	200	200	200	200
		実績		206	184	107	-	-	
会員登録数(依頼会員、提供会員、両方会員)									
活動指標	2	説明会、講習会等の参加人数	人	目標	400	400	400	400	400
		実績		255	247	0	-	-	
会員のための講習会、交流会参加人数									
成果指標	1	センター活動件数	件	目標	5,500	5,500	5,226	5,330	5,435
		実績		4,616	6,117	3,626	-	-	
実際に援助活動を行った件数									
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、核家族化の進行、保護者の働き方の多様化などにより、子育ての負担感から子どもの見守り事業へのニーズは保育所や児童クラブとも重複する形で増加傾向にある。		
これまでの見直しや改善等の経過	依頼会員が安心して利用できるよう、国が示す基準に基づいて安全講習を実施している。また、援助会員を増やすために、地域での関係機関の会議での担い手への声掛けや、会員同士の誘い合いを促す取組に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	核家族化が進行し、保護者の働き方が多様化している社会環境下において、子育ての負担感は大いことから需要が高まっている。市全域をカバーできるようなネットワークを作れるのは本事業の仕組みならではであり、妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業開始以降の経過としては増加傾向にあり、子どもの送迎、預かりが必要な子育て世帯の支援に貢献している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	経験豊富なアドバイザーによる会員同士の調整や会員の育成、確保などが効率よく行えている。また、市全域をカバーするネットワークを有する大津市社会福祉協議会に事業を委託しており、効率性は高い。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	見守りや送迎、緊急時の対応など他の地域子育て支援事業の隙間を埋める本事業は、子育て世帯にとって有用な事業であり、仕事と家庭の両立支援に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
	①事業周知により会員の増加に努める。特に、依頼も援助も行うことのできる「両方会員」での加入を促進し、将来的に持続可能な組織体制の構築を目指す。②安全講習のさらなる充実を図るとともに、定期的なフォローアップを行う。
部局長コメント	引き続き、事業の周知や講習会の充実を図り、新規会員の確保とサービスの充実に努めていく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	83.92 %	111.21 %	69.38 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+32.51 %	-40.72 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	71 千円	79 千円	143 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	3 千円	2 千円	4 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-24.61 %	+77.29 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	108		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て総合支援センター
事務事業名	00036 子育て総合支援センター事業	所 属 長	畑先 益男
		記 入 者	清水 友美子

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・子育て支援法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		大津市子ども・若者支援計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	02	子ども・子育て支援事業			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	子育て総合支援センター事業費	
事業の概要	・大津市の子育て支援に係る企画、実践、情報収集と発信の拠点として事業展開する。 「子どもや子育てに夢が広がる場、世代を超える出会いとつながりあいの場、安心と信頼の気持ちを抱き、誰もが集える場、子育ては楽しい！幸せと感じる場、一人ひとりの出番があり、共に育ち合える場」を理念に、情報の収集と発信事業、親子・家族の交流、学習、体験事業、子育て語り合い相談事業等を行う。				
	運営方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	・子どもを安心して産み育て、共に育ち合う子育て仲間のつながるまちづくりを推進するために
対象 (何又は誰を)	・就学前の子どもとその家族や、子育て支援に関わる関係者等の子育て仲間を対象に
手段 (どのようなやり方で)	・日常的なつどいの場の開設、気軽に集え子育て支援につながる講座の開催、子育てについての相談対応、身近な居住地域における遊びの提供等、人と関わるのが心地よいと感じる親子、家族の体験活動を通して
成果 (どのような状態にするのか)	・子育ての楽しさや子どもを地域で育て合う大切さを認識し、自身の子育てに活かし、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことを通して、子育ての負担感を軽減し、子どもを産み育てることに喜びを見出す。

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		16,683	15,427	11,032	12,331	12,331	
人件費 B		54,297	47,290	49,180	55,811	55,811	
事業費合計 A+B		70,980	62,717	60,212	68,142	68,142	
事業費の内訳	国	2,830	2,901	2,945	2,944	2,944	
	県	2,830	2,901	2,945	2,944	2,944	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	215	176	347	222	222	
	一般財源	65,105	56,739	53,975	62,032	62,032	
職員数(人)		11.94	10.60	9.72	10.66	10.66	
職員数の内訳	正規	4.70	3.82	3.77	4.50	4.50	
	嘱託	2.62	2.31	0.00	0.00	0.00	
	臨時	4.62	4.47	5.95	6.16	6.16	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	子育て総合支援センター開設日	日	目標	293	293	242	292	292
				実績	292	268	242	-	-
活動指標	2	子育て講座開催回数	回	目標	500	500	280	500	500
				実績	511	452	82	-	-
成果指標	1	子育て総合支援センター来場者数	人	目標	80,000	80,000	14,000	23,000	46,000
				実績	74,124	60,105	17,050	-	-
	2	年間事業参加人数	人	目標	30,000	30,000	12,000	8,000	13,000
				実績	16,788	14,883	6,147	-	-
		講座等参加者保護者+子ども=人数							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	出生率の減少や幼稚園の3年保育の実施、保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化、減少傾向にある。		
これまでの見直しや改善等の経過	利用者の低年齢化に伴い、講座の内容を見直し利用者満足度の向上を図ってきた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市内にある6カ所のつどいの広場を統括する拠点である当センターは、関係機関とも連携できるため市が運営することが妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	出生率の低下、幼稚園の3年保育の実施に伴い来場者は減少しているが、リピーター率は89%であり、子育て中の家族にとって必要な施設であると考えます。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	大津市の子育て支援の拠点として、各福祉エリアにあるつどいの広場や子育て支援機関と連携するとともに、子育てアプリを活用し効率的な子育て情報の発信を行っている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	子育て中の家族がつどえる場の提供や子育ての様々な情報の発信をするとともに、市内の子育て支援機関との連携が図れ施策に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市内の各つどいの広場の機能の充実を図りながら、当センターが全体を総括し、関係機関や子育て支援者と連携しながら、地域の中で子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。また、子育てアプリ等を活用して幅広く子育ての情報を発信していく。
部局長コメント	新型コロナウイルス感染症の影響により一時的な利用減少が見られたものの、今後も子育て中の家族が安心して利用し、育ち合える事業の一層の充実に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	92.65 %	75.13 %	121.78 %
	指標2	55.96 %	49.61 %	51.22 %
成果増減率	指標1	- %	-18.91 %	-71.63 %
	指標2	- %	-11.34 %	-58.69 %
活動単位コスト	指標1	243 千円	234 千円	248 千円
	指標2	138 千円	138 千円	734 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	1 千円	3 千円
	指標2	4 千円	4 千円	9 千円
コスト増減率		- %	+4.31 %	+185.44 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	109				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て総合支援センター	所 属 長	畑先 益男
事務事業名	02384	子育て地域活動支援事業	記 入 者	清水 友美子	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・子育て支援法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
	重事	02	子ども・子育て支援事業	関連する個別計画	大津市子ども・若者支援計画

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	子育て地域活動支援事業費	

事業の概要
 福祉7エリア内に、子育て中の家族が気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を整備している。
 ・地域子育て支援拠点を、志賀・東部のエリア2カ所で指定管理者により、北部・中北部・南部のエリア3カ所で委託により、中部・中南部のエリア2カ所で直営により、それぞれ実施している。
 ・子育てステーション事業を、市立保育園14カ所で実施している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	子育て中の家族の不安感・負担感を軽減し、孤立化を防止するために
対象 (何又は誰を)	就学前の子どもとその家族を対象に
手段 (どのようなやり方で)	気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を地域に開設し、
成果 (どのような状態にするのか)	安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能を充実させる。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		31,864	33,113	33,329	32,461	32,461	
人件費 B		13,679	18,994	18,689	18,724	18,724	
事業費合計 A+B		45,543	52,107	52,018	51,185	51,185	
事業費の内訳	国	10,101	10,351	10,573	10,574	10,574	
	県	10,101	10,351	10,573	10,574	10,574	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	14	10	0	14	14	
	一般財源	25,327	31,395	30,872	30,023	30,023	
職員数(人)		2.67	3.32	3.08	2.59	2.59	
職員数の内訳	正規	1.80	1.90	1.80	2.10	2.10	
	嘱託	0.00	0.45	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.87	0.97	1.28	0.49	0.49	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	つどいの広場箇所数	カ所	目標	6	6	6	6	6
				実績	6	6	6	-	-
	箇所数								
	2	ステーション事業実施園数	カ所	目標	14	14	14	14	14
実績				14	14	14	-	-	
箇所数									
成果指標	1	つどいの広場来場者数	人	目標	75,000	75,000	12,000	45,000	48,000
				実績	66,861	57,443	33,882	-	-
	来場した大人+子ども=来場者数								
	2	ステーション事業参加者数	人	目標	13,500	13,500	6,750	3,300	5,800
実績				8,023	6,930	2,491	-	-	
来場した大人+子ども=来場者数									

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	132				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子ども家庭相談室	所 属 長	藤川 義則
事務事業名	00020 子育て短期支援事業	記 入 者	福田 誠吾		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子育て短期支援事業実施要綱 大津市子ども・若者支援計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	99	その他	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	子育て短期支援事業費	

事業の概要
児童を養育している家庭において、保護者の疾病、出産、仕事の理由等によって、家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に児童養護施設等において一時的に養育することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護（トワイライトステイ）事業を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	保護者の疾病、出産、仕事の理由等によって、家庭での児童の育児が一時的に困難になった場合に、児童養護施設等で一時的に養育する事業を実施することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。
対象 (何又は誰を)	市内に住所を有する満1歳から小学生まで（トワイライトステイでは小学生）の児童で、保護者の疾病、出産、仕事の理由等により家庭において養育を受けることが一時的に困難となったもの。
手段 (どのようなやり方で)	ショートステイ事業においては乳児院、児童養護施設、里親に委託することにより、一時的に養育する。また、トワイライトステイ事業においては児童養護施設、里親に通所させる。
成果 (どのような状態にするのか)	一時的に養育困難な児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		789	1,207	1,365	1,825	1,860	
人件費 B		1,640	1,660	1,640	1,640	1,640	
事業費合計 A+B		2,429	2,867	3,005	3,465	3,500	
事業費の内訳	国	253	286	263	568	568	
	県	207	322	227	568	568	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,969	2,259	2,515	2,329	2,364	
職員数(人)		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	相談件数	件	目標	75	103	103	103	103
				実績	103	86	95	-	-
	2			目標					
				実績					
成果指標	1	利用延日数	日	目標	262	138	138	220	220
				実績	138	211	224	-	-
	2	事業利用件数(利用延日数)	人	目標	75	75	75	75	75
				実績	60	62	74	-	-
		事業利用件数(利用延人数)							

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	18	
部 局 名	総務部	所 属 名 総務課
事務事業名	00195 私学振興対策事業	所 属 長 田中 善隆
		記 入 者 藤田 勲

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	私立学校法第59条、私立学校振興助成法 定期健康診断補助 児童生徒就学奨励費
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	99	その他		
重事	99	その他		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	私学振興対策費	

事業の概要
私立学校等の教育環境の整備を図るとともに、通学児童生徒の健全な育成・発展に資するため「私立学校等振興助成金」として交付する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	私立学校等の教育環境整備等を支援することにより、通学児童生徒の健全な育成・発展に資する。
対象 (何又は誰を)	市内の私立学校等（滋賀短期大学附属高等学校・比叡山中学校・比叡山高等学校・滋賀朝鮮学園）
手段 (どのようなやり方で)	各学校に通学する市内在住児童生徒数に対し、補助額交付単価を乗じた額を助成
成果 (どのような状態にするのか)	教育環境整備及び学校経営の支援

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,134	2,118	2,040	2,163	2,163	
人件費 B		164	166	164	164	164	
事業費合計 A+B		2,298	2,284	2,204	2,327	2,327	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,298	2,284	2,204	2,327	2,327	
職員数(人)		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
職員数の内訳	正規	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	助成対象生徒数	人	目標	1,740	1,740	1,740	1,600	1,600
		実績		1,659	1,571	1,491	-	-	
	5月1日現在の市内在住児童生徒数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	助成金額	千円	目標	2,299	2,299	2,299	2,163	2,163
		実績		2,134	2,119	2,040	-	-	
	補助単価×5月1日現在の市内在住児童生徒数								
	2			目標					
			実績						

